

平成 28 年度 津山市地域創生推進会議 会議要旨

と き：平成 28 年 10 月 27 日

午後 2 時～

場 所：津山市役所 2 階大会議室

議 題

( 1 ) 平成 27 年度総合戦略の取組みについて

～事務局より説明～

委員 目標を達成している事業も見受けられる。目標の上方修正への考え方は、5 年先の目標設定に対して年度ごとに比較できるように要望する。

事務局 一部上方修正の事業があります。

委員 移住希望者から津山市の支援制度について聞かれる。  
行政の側で支援制度の告知にもっと取組んでもらいたい。

事務局 移住ポータルサイト等での情報提供を行っているが、今後も相談会等でも周知を図っていきます。

( 2 ) 平成 28 年度総合戦略の改訂について

～事務局より説明～

委員 医療ツーリズムの取組みについて、今後、中国の患者を中心に考えられているということか。

事務局 ターゲットとなる国については、中央病院さんのお考えもあると思いますので、連携を図って行きたいと考えます。

委員 観光等について、周辺地に関する記載が必要。  
周辺にも魅力のある施設等がある。調査をしてより良い観光ルートの創設が必要と思う。

事務局 包含して着地型の商品開発の記載をしておりますが今後加筆等して行きたいと思っております。

委員 外国人観光客は有名観光地を巡る旅行に飽きてきている。良いチャンスだと考える。資源を見直していただき、古いものを残していただきたい。  
医療ツーリズムについても、大学生のビジネスプランコンテストを開催している。良い意見も出ると思う。

( 3 ) 今後の主な取組みについて

～事務局資料及びパワーポイントにて説明～

人材大学校・医療ツーリズム滞在型観光

委員 地域産業人材の育成の中で、医療の人材育成があるが専門的な育成になるが、具体的には。

事務局 医療人材の育成は非常に高度なものと認識しており、今回は介護等の部分的な育成になると考えています。

委員 津山高専の積極的な活用が必要では。

事務局 津山イノベーションセンターを高専に設置しており、産学官の一層の連携を図っていく中で、人材育成の取組みを図って行きたいと考えています。

委員 岡山市の中でも英語で 24 時間対応できるホテルがほぼない状況。旅館業、タクシー等の英語や中国語の教育も必要と思う。地道なことだが、そういったところを積み重ねて行くことが必要だと思うので、是非検討をお願いします。

事務局 中央病院からも医療通訳が必要との話を頂いている。観光分野でも宿泊先、ボランティア等の人材育成も必要と考えており、今後も検討して行きます。

委員 W i - F i を同一システムにして、外国人の利便性を向上させることも重要だと思う。

委員 この滞在観光の中に、スポーツの取組みがあってもいいのでは。

委員 人材育成について、専門的なものを学ぶ中で、グローバルな視点が必要だと思う。

事務局 山陽カルチャーさんやパソナ岡山さんと連携し、英語教育分野の取組みも行えればと考えている。

その他について

委員 定住自立圏の形成と連携中枢都市圏の形成について現在の状況は。

事務局 総合戦略にも掲載をしておりますが、定住自立圏については、近隣の 5 町と形成しようということで、5 月 30 日に中心市宣言を行い、事務レベルでの協議を重ね、12 月議会に協定の締結について議案を提出することとしております。

連携中枢都市圏については、岡山市が中心となり、8 市 5 町で 10 月に調印をしております。空港津山道路等南北軸の強化を図り、津山圏域全体が盛り上がるような取組としていきたいと考えております。